

白河都市環境センターにおける再生可能エネルギーの活用に関する

サウンディング型市場調査【結果概要】

1 目的

白河市は、昭和56年に公共下水道事業に着手し、平成6年3月から白河都市環境センターの供用を開始し、現在まで施設の運営を行ってまいりました。人口減少や節水技術の向上等による使用料収入の減少、施設の老朽化による改築費用及び管理運営経費の増加により下水道事業の経営環境はより一層厳しくなることが想定されるため、中・長期的な運営を視野にいたした経営の健全化に取り組む必要が求められています。

本市では、2050年までに脱炭素社会の実現を目指す、「ゼロカーボンシティ」を宣言しており、公共施設の脱炭素化に向けた取り組みを進めているところです。

そこで、市は経営の健全化を図り、かつ脱炭素社会の実現に寄与できる方策について、行政内部だけで検討を進めるのではなく、民間事業者の皆様と直接対話（サウンディング型市場調査）を行い、対話を通して先進的なアイデアや幅広い視点から管理運営経費節減や温室効果ガスの排出削減につながる意見や提案をいただき、より効率的で効果的、かつ実効性のあるものとするために本調査を実施しました。

この度、民間事業者への市場調査が完了しましたので、その概要を公表します。

2 対象施設

白河都市環境センター（白河市本沼鷹ノ巣2）

3 サウンディング型市場調査の開催概要

実施要領公表	令和6年5月27日
説明会・現地見学会	令和6年6月3日～6月14日
サウンディング型市場調査参加受付	令和6年6月17日～6月28日
サウンディング型市場調査（個別対話）	令和6年7月1日～7月12日

4 提案件数

3事業者5提案

5 提案概要

太陽光発電事業のほか、再生可能エネルギーの活用について提案をいただきました。

6 今後の予定

今回、参加事業者の方々からいただいた提案内容や意見を踏まえ、引き続き管理運営経費節減や温室効果ガス排出削減につながる事業検討を進めていきます。